

主な海産魚類養殖における疾病対策と発生時期							
<p>(要約)平成13年から17年の海産魚類養殖に実施した疾病対策は15種類、206件であった。最も多く疾病対策を実施した魚種はスギ、次にヤイトハタ、マダイの順であった。主な疾病はスギの類結節症、ヤイトハタとマダイのイリドウイルス病であった。類結節症は12月～6月および台風接近等の水温変動時、イリドウイルス病は高水温期の6月～9月に多発する傾向がみられた。</p>							
水産海洋研究センター 海洋資源・養殖班					連絡先	098-994-3593	
部会名	水産業部会	専門	水族病理	対象	養殖魚類	分類	指導
普及対象地域							

[背景・ねらい]

海産魚類の養殖生産量の増加に伴って多発する魚病の被害を軽減するために、魚類の種苗生産や養殖時に発生する疾病の種類、時期を調べ、疾病の発症しやすい時期の免疫力の強化やストレスの低減等を指導することによって、養殖魚類の安定生産に寄与することを研究の目的とした。

[成果の内容・特徴]

1. 平成13年～17年の海産魚類養殖における疾病の対策件数は15種、206件であった。
2. 対策件数の最も多かったのはスギの115件、次にヤイトハタの63件、そしてマダイの51件で、スギでは類結節症、ヤイトハタとマダイではイリドウイルス病の対策件数が多かった(表1)。
3. スギ養殖における類結節症の対策件数は16年に9件、17年には29件と増加傾向を示した。一方、ヤイトハタ養殖におけるイリドウイルス病対策は15年に13件と多発したものの、その後16年に6件、そして17年に8件に低下した。マダイ養殖におけるイリドウイルス病対策は14年の8件をピークに養殖漁業者の減少に伴って低下した(表1)。
4. スギ養殖における主な疾病である類結節症は水温が下降する12月～3月の低水温期と水温が上昇する4月～6月および台風接近等の水温の変動時に発症することが多かった。
5. イリドウイルス病はスギ養殖で5月～9月、ヤイトハタ養殖では5月～12月、そしてマダイ養殖では4月～10月に発症が確認され、特に高水温期の6月～9月に多発する傾向が観られた。

[成果の活用面・留意点]

1. 適切な水産医薬品の使用と有効な対策を指導することによって安心安全な養殖魚の生産と魚病による被害を軽減化できる。
2. 疾病の早期発見によって、魚病被害のまん延を防止できる。
3. 疾病が発生しやすい時期にはビタミン剤の強化、潮通しの良い場所への移動、低密度飼育、網掃除の徹底、そして潜水観察による魚病の早期発見に努める必要がある。
4. 斃死魚あるいは衰弱魚を発見した場合は魚病診断を受け、適切な対策を実施した方がよい。

[具体的データ]

表1 平成13年～17年の主な海産魚類養殖における疾病対策の件数

養殖種	疾病の種類	疾病名	疾病対策の件数					合計	疾病に占める率(%)
			平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年		
スギ	ウイルス性疾病21.7%	イリドウイルス病	6	9	7	0	3	25	21.7
		細菌性疾病	4	2	2	9	29	46	40.0
	65.2%	ピブリオ病	1	0	0	1	9	11	9.6
		連鎖球菌症	6	1	1	2	0	10	8.7
		滑走細菌症	2	2	1	0	1	6	5.2
		エビテリオシスチス症	0	0	0	0	2	2	1.7
		寄生虫性疾病	7	0	0	0	0	7	6.1
	9.6%	トリコジナ症	0	0	0	0	0	0	0
		ベネデニア症	0	0	0	0	2	2	1.7
		白点病	1	0	0	0	0	1	0.9
	その他	ウージニウム症	0	1	0	0	0	1	0.9
		骨格異常症	0	0	0	0	1	1	0.9
		餌料性疾患	0	0	0	0	2	2	1.7
酸素欠乏症	1	0	0	0	0	1	0.9		
計	疾病13種類	28	15	11	12	49	115	100.0	
ヤイトハタ	ウイルス性疾病	イリドウイルス病	1	2	13	6	8	30	47.6
		VNN	0	0	4	0	0	4	6.3
		リンホシスチス症	0	1	0	0	0	1	1.6
	細菌性疾病	滑走細菌症	5	0	0	2	1	8	12.7
		ピブリオ病	0	0	0	1	6	7	11.1
		類結節症	0	0	0	0	2	2	3.2
	寄生虫性疾病15.9%	エラムシ症	0	0	1	2	7	10	15.9
	その他1.6%	緑肝症	0	0	0	1	0	1	1.6
計	疾病8種類	6	3	18	12	24	63	100.0	
マダイ	ウイルス性疾病49.0%	イリドウイルス病	5	8	7	2	3	25	49.0
		細菌性疾病	1	0	3	1	1	6	11.8
	37.3%	滑走細菌症	5	4	0	0	0	9	17.6
		連鎖球菌症	0	0	0	0	1	1	2.0
		ピブリオ病	0	0	0	0	1	1	2.0
		類結節症	0	0	0	0	1	1	2.0
		エドワジエラ症	0	1	0	1	0	2	3.9
	寄生虫性疾病	白点病	1	0	0	0	1	2	3.9
		エラムシ症	0	0	2	0	0	2	3.9
		筋肉クドア症	0	0	0	1	0	1	2.0
	その他2.0%	工ボ類症	1	0	0	0	0	1	2.0
酸欠症		1	0	0	0	0	1	2.0	
計	疾病11種類	14	13	12	5	7	51	100.0	

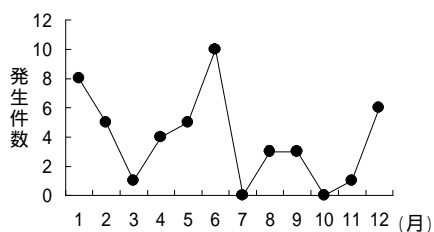


図1 スギ養殖における類結節症の発生時期

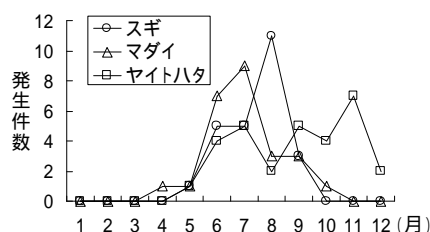


図2 スギ、ヤイトハタ、マダイ養殖におけるイリドウイルス病の発生時期

[その他]

研究課題名：養殖魚介類の耐病性試験

予算区分：県単

研究期間：平成13年度～平成17年度

研究担当者：玉城英信・中村博幸・杉山昭博・小澤明子

発表論文等：平成13年～17年度 沖縄県水産試験場事業報告書